

文化施設 展覧会・イベント情報

休館日、開館時間などは各施設へお問い合わせください
 豊科郷土博物館は収蔵資料の防虫作業のため、5月30日(月)～
 6月1日(水)が臨時休館となります

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み等
豊科郷土博物館 TEL72・5672	友の会ボタニカルアート展 友の会写真展	6月4日(土)～19日(日) 午前9時～午後5時 (19日は午後4時まで)	観覧料
貞享義民記念館 TEL77・7550	北原良信クラフトバンド作品展	5月21日(土)～29日(日) 午前9時～午後5時	観覧無料(常設展は有料)
	洗馬堂平線刻三十三観音拓本・写真展	6月4日(土)～12日(日) 午前9時～午後5時	
	7つの絵画教室作品展	6月15日(水)～7月3日(日) 午前9時～午後5時	
白井吉見文学館 TEL71・5123	古文書講座「 <small>あかみのだん</small> 赤義談」を読もう 講師 太田秀保さん(塩尻市文化財保護審議委員)	6月25日、7月9日・16日・30日、 8月27日、9月10日・24日、 10月8日 土曜日・全8回 午後1時30分～3時30分	観覧各回 300円(資料代) 定員各回 15人(先着順) 5月24日(火)から電話で
	白井吉見文学館講演会 太宰治と白井吉見 —筑摩書房との関係を中心に— 講師 安藤宏さん(東京大学教授)	7月12日(火) 午後2時～3時30分 堀金公民館講堂	観覧無料 定員 60人(先着順) 5月30日(月)から電話・ ファクス(71・5127)・電子 メール(*)のいずれかで
文書館 TEL71・5123	文書館講演会 活断層と地震がつくった安曇野 講師 大塚勉さん(信州大学名誉教授)	6月26日(日) 午後1時30分～3時 堀金公民館講堂	観覧無料 定員 60人(先着順) 5月23日(月)から電話・ ファクス(71・5127)・電子 メール(*)のいずれかで
	文書館講座 古文書から読み解く善光寺地震 講師 赤羽根嘉矩さん(三郷郷土研究会)	7月17日(日) 午後1時30分～3時 堀金公民館講堂	観覧無料 定員 30人(先着順) 5月30日(月)から電話・ ファクス(71・5127)・電子 メール(*)いずれかで

※ bunshokan@city.azumino.nagano.jp

コラム 市誌編さん
 車窓から見える安曇野の自然の美しさに、旅人は魅せられます。その田園風景はみな、安曇野に暮らす人々が長い時間をかけて作りだした風景なのです。長野県の穀倉地帯と呼ばれるほどになった豊かな暮らしも、古い暮らしを捨て、より良い暮らし方を求めて作り出してきた努力の結果なのです。
 当たり前の風景や暮らしの中には、こうした歴史が重なって存在しています。屋敷林に囲まれた母屋の屋根の棟飾りであるスズメオドリやシャチホコ、水田の中に点在する墓地、大きな

第2回 安曇野びとのくらし 市誌編さん専門調査員(民俗) 倉石忠彦

ひょうたんを間に置いて道端にたたく道祖神、お盆の食べ物として欠かせないエゴ、小さな谷にまで作られているわさび畑、など、いずれも他の地域では見られない風景であり、暮らし方です。なぜ、こうした暮らし方を、安曇野の人々は選んできたのでしょうか。その姿と変化を明らかにしようとするのが『安曇野市誌』なのです。



貞享義民記念館 ～貞享騒動を巡る～

TEL77・7550

■水野氏と松本城下町巡り(半日コース)

松本城下町と寺社などを歩いて巡り、水野氏の足跡に着目し、騒動の時代背景を考えます。

6月1日(水) 城下町の南側
 9月14日(水) 城下町の東側(予定)
 午前9時30分～午後1時

松本駅前交番前集合
 講師 後藤芳孝さん(松本城管理事務所研究専門員)

■開館30周年記念 貞享騒動旧跡巡り

貞享騒動ゆかりの地(安曇野市～松本市)などの旧跡をバスで巡りながらその地で起きた騒動について学びます。

6月29日(水) 午前9時～午後4時ごろ
 貞享義民記念館集合 講師 寺島俊郎(同館館長)
 昼食

【共通事項】
 観覧 300円 定員 20人(先着順)
 5月24日(火)から電話で



土門拳《近藤勇と鞍馬天狗》1955年土門拳記念館蔵

土門拳記念館コレクション展
 土門拳 —肉眼を超えたレンズ—

激動の昭和を独特のカメラアイで切り撮り、日本の写真界に大きな足跡を残した報道写真家・土門拳(1909-1990)。本展ではライフワークとなった「古寺巡礼」や著名人の肖像写真「風貌」など代表作約140点を展示。また、土門が安曇野を訪れ撮影した萩原守衛の彫刻写真20点もあわせて紹介します。

5月29日(日) - 7月10日(日)

Azumino Municipal Museum of Modern Art, TOYOSHINA
 安曇野市豊科近代美術館 TEL(0263)73-5638 FAX(0263)73-6320
 http://azumino-museum.com

- 開館時間 午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分)
- 休館日 月曜日(5月30日は開館)
- 入館料 一般800円・大学生600円
 ※高校生以下・障がい者手帳をお持ちの人と介助者1名 無料

関連企画

申し込みは5月24日(火)から美術館へ電話で

■ワークショップ

初心者向けポートレート講座

講師 高橋広平さん(雷鳥写真家)

6月11日(土)
 午後1時30分～4時

美術館多目的ホール集合

観覧 1組500円

定員 7組14人(先着順)

備 備デジタルカメラ、スマホなど

■記念講演会

日本写真史のなかの土門拳

講師 大澤紗蓉子さん(横浜美術館学芸員)

6月19日(日)
 午後2時～

美術館多目的ホール

観覧 無料(要土門拳展入館料)

定員 30人(先着順)

■ワークショップ

光で遊ぼう!サイアノタイプ(青写真)に挑戦

7月2日(土) ①午前10時～②午後2時～

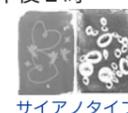
(各回90分程度)
 観覧 500円 定員 各回10人(先着順)

■ギャラリートーク

6月5日(日)・25日(土) 午後2時～

2階展示室(2階エレベーター前集合)

観覧 無料(要土門拳展入館料) 定員 不要



サイアノタイプ

田淵行男 山岳写真傑作選

土門拳展会期中、豊科近代美術館と田淵行男記念館で相互割引が受けられます



《初冬の浅間 黒斑山の中腹より》1940年12月撮影

5月31日(火) - 9月19日(月・祝)

田淵行男記念館 TEL(0263)72-9964 FAX(0263)88-2010
 YUKIO TABUCHI MEMORIAL MUSEUM http://tabuchi-museum.com/

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 月曜日(祝日と8月15日は開館)、祝日の翌平日
- 入館料 高校生以上310円
 ※中学生以下・70歳以上の市民
 障がい者手帳をお持ちの人と介助者1名 無料